

政策整理番号 23

評価シート(B)

対象年度	H16	作成部課室	教育庁生涯学習課	関係部課室	
------	-----	-------	----------	-------	--

政策番号	3-7-2	政策名	生涯にわたって学び楽しめる環境の充実
------	-------	-----	--------------------

施策番号	1	施策名	多様なニーズに対応した学習機会の提供
------	---	-----	--------------------

A - 3 - 1 施策の有効性:規則 § 6 3号

有効	概ね有効	課題有
----	------	-----

[政策評価指標達成状況から] 課題有  
 指標名:みやぎ県民大学受講者数(累計) 達成度 A  
 ・(達成状況の背景)概ね各講座とも順調に集客が図られ、平成16年度の受講者数は2,892人と、応募予定者数2,831人を上回った。  
 ・(達成度から見た有効性)単年度で見ても、目標値を超えており、施策の有効性が認められる。  
 指標名:公立図書館における図書資料貸出数(県民一人当たり) 達成度 B  
 ・(達成状況の背景)三陸南地震の被害による開館日数の減の影響により、目標値の3.6冊には達しなかった。  
 ・(達成度から見た有効性)目標値達成には0.1ポイント足りない状況にあるが、三陸南地震の影響を考慮すれば、施策の効果は認められる。  
 [政策満足度から] 概ね有効  
 ・第3回から政策満足度が60点となっており、一応の効果がみられる。  
 [社会経済情勢を示すデータの推移から]  
 ・特になし。

[総括]  
 ・政策満足度は60点と高いが、公立図書館における図書資料貸出数の政策評価指数達成度がB判定となった。これは、三陸南地震の影響によるところが大きく、必ずしも施策自体に問題があるとは認められない。  
 [その他特記事項]  
 ・特になし。

施策を構成する事業の事業番号と種別

事業番号	種別	事業名	事業番号	種別	事業名
1	主	みやぎ県民大学推進事業	6		
2	主	市町村図書館支援事業	7		
3			8		
4			9		
5			10		

主:宮城県総合計画第 期実施計画に掲載されている「主要事業」 重:重点事業のうち主要事業以外の事業

B - 1 施策実現にむけた県関与の適切性と事業群設定の妥当性:規則 § 6 1号, 4号

適切	概ね適切	課題有
----	------	-----

[国,市町村,民間団体との役割分担] 課題有  
 ・本施策については、国・県・市町村・民間団体別に、役割がきちんとは定められてはいない。ただし、現行では、各地域において生涯学習の振興が図られるよう市町村及び民間団体をも想定に入れ、取り組んでいる。  
 ・国,市町村,民間団体と連携を図りながら、生涯学習を振興していくためにも、今後、役割分担等の体系構築は必要。  
 [施策目的を踏まえた事業か] 適切  
 ・高等学校をはじめとする教育施設等と連携しての講座開設など、いずれも施策目的を実現するための事業である。  
 [事業間で重複や矛盾がないか] 適切  
 ・各事業とも目的や対象者は適正に設定されており、重複や矛盾はない。  
 [社会経済情勢に適応した事業か] 適切  
 ・価値観、ライフスタイルの多様化やNPOなど市民活動団体の社会的認知と活動の活発化などの社会経済情勢に適応した事業となっている。  
 [施策重視度と満足度のかい離が大きいか] (事業の必要性) 適切  
 ・かい離度は中程度(10)であるが、重視度は70と高い水準を維持していることから、各事業は必要である。

[総括]  
 ・国や市町村等との役割分担については、課題を残すところであるが、施策目的等から判断し、本施策の事業設定は適切である。

施策番号	1	施策名	多様なニーズに対応した学習機会の提供
------	---	-----	--------------------

**B - 2 事業群の有効性:規則 § 6 2号**

有効	概ね有効	課題有
----	------	-----

【施策満足度から】 おおむね有効  
 ・施策満足度は2回続けて60点を維持しており、事業群については概ね有効である。

【政策評価指標達成状況から】 おおむね有効 「政策評価指標分析カード(4)ア」から抜粋  
 ・政策評価指標の「みやぎ県民大学受講者数」については、順調に推移しており、目標値を達成している。  
 ・政策評価指標の「公立図書館における図書館資料貸出数」については、目標値に0.1冊及ばなかったが、三陸南地震の影響により、開館日数が減少したためであり、特に大きな問題はない。

【社会経済情勢を示すデータの推移から】  
 ・特になし。

【業績指標推移から】 有効  
 ・効率性指標については、順調に推移しており、事業群については有効である。

【成果指標推移から】 有効  
 ・三陸南地震の影響により、開館日数が減少したにもかかわらず、県内公立図書館における個人の図書資料貸出総数は8,360千冊となり、前年より73千冊増加している。

【総括】  
 ・政策評価指標の「公立図書館における図書館資料貸出数」については、三陸南地震の影響による開館日数の減少により、目標値は達成できなかったが、施策満足度、業績指標、及び成果指標から、施策の効果が認められることから事業群は「おおむね有効」と判定する。

**B - 3 事業群の効率性:規則 § 6 3号**

効率的	概ね効率的	課題有
-----	-------	-----

【施策満足度 業績指標・成果指標】 おおむね効率的  
 ・施策満足度は60を維持しており、業績指標、成果指標の推移と相関が認められることから、おおむね効率的と判定する。

【政策評価指標達成度 業績指標・成果指標】 おおむね効率的  
 ・公立図書館における貸出冊数については、評価指標達成度がAからBへと下がったものの、業績指標・成果指標は逆に上がっている。これは、評価指標の目標値がチャレンジの目標値であり、高く設定されていることからであり、相関性については認められる。

【社会経済情勢データ 業績指標・成果指標】  
 ・特になし。

【事業費に対する業績指標の割合(効率性指標)が適切か】 おおむね効率的  
 ・みやぎ県民大学推進事業については、事業費については年々減少されているが、受講者数については横ばい状態であり、効率性指標は高くなっている。また、市町村支援事業費については、事業費がほぼ横ばいであるものの、業績指標と成果指標は伸びており、効率性指標は高くなっていることから、全体的には効率的に事業が実施されているものと判断できる。

【総括】  
 ・満足度については60点と前年度を維持しており、また政策評価指標については、一部目標値を達成できなかったが、地震という特殊要因があったためであり、施策のめざす方向に進んでいると言える。  
 ・それとともに、事業全体の業績指標、成果指標も増加の方向で適切に推移していることから、事業群はおおむね効率的に実施していると判断できる。

**B 施策評価(総括):規則 § 6**

適切	概ね適切	課題有
----	------	-----

・政策評価指標である公立図書館における図書資料貸出数(県民一人あたり)の達成度はAからBへと下がったが、これは三陸南地震の被害による県図書館の開館日の減少が主な原因であり、事業群の設定、有効性及び効率性については、特に大きな問題もないことから、施策については、概ね適切であると認められる。

# 政策評価指標分析カード(整理番号1)

政策整理番号 23

対象年度	H16	作成部課室	教育庁生涯学習課	関係部課室	
------	-----	-------	----------	-------	--

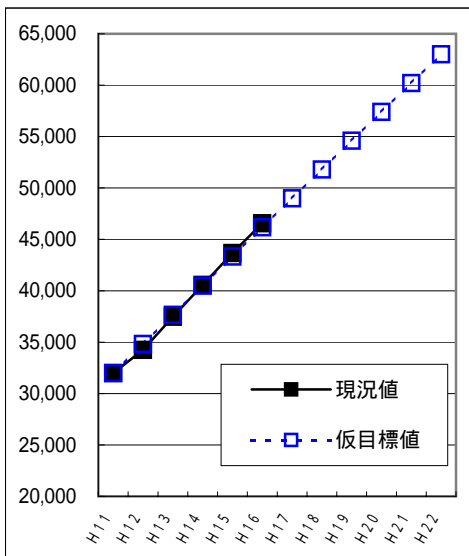
政策番号	3-7-2	政策名	生涯にわたって学び楽しめる環境の充実
------	-------	-----	--------------------

施策番号	1	施策名	多様なニーズに対応した学習機会の提供
------	---	-----	--------------------

## (1) 政策評価指標の推移

政策評価指標名		単位						
みやぎ県民大学受講者数(累計)		人						
目標値	難易度	H17	49,000	H22	63,000			
評価年	初期値	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
測定年		H11	H12	H13	H14	H15	H16	
現況値 (達成度判定値)		31,992	31,992	34,242	37,465	40,576	43,665	46,557
仮目標値		31,992	34,827	37,662	40,497	43,332	46,167	49,000
達成度		...	B	B	A	A	A	

## 政策評価指標値の推移(グラフ)



難易度: (トレンド型目標 実現が可能), (中間型目標 実現が困難), (チャレンジ型目標 実現がかなり困難)

## (2) 指標の選定理由

- みやぎ県民大学受講者数の増加は、生涯学習に慣れ親しむ県民が増えることを意味し、生涯学習環境の充実を示す指標として選定した。
- 職業上必要な知識、技術一般的な教養に関する学習機会の提供に対する県民ニーズに応える指標として選定した。
- 学習成果が県民のキャリア開発やボランティア活動など積極的な社会参加に生かされ、地域づくりにも反映される指標として選定した。

## (3) 施策満足度の推移

施策満足度 (単位:点)	年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
	施策重視度 A		-		80	70	70					
施策満足度 B		-		50	60	60						
かい離 A-B		-		30	10	10						

## (4) 政策評価指標の妥当性分析

ア 達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し	イ 達成度と施策満足度の推移の相関
達成度:A ・受講者については、前年度(3,089人)より減少したものの、おおむね各講座とも順調に受講の応募があり、平成16年度の受講者数は2,892人と応募予定者数2,831人を上回った。 ・県民大学については、広域的に生涯学習の機会を提供することを主目的としており、このことが県民に支持されているところであり、最終的には県全域での開催を目指すものである。 ・予算額が減少している状況の中、講座の質を下げず、いかに実施していくかが課題となる。	判定:・・・ ・達成度A, 施策満足度60と2年続けて変わっていないので、相関関係については、判定できない。 相関の判定: (正の相関)、×(負の相関)、...(判定不能 満足度あるいは達成度の変動がない、または達成度が判定不能のため相関の検証ができない場合等)

## (5) 政策評価指標の妥当性の検証(総括)

存続 要検討

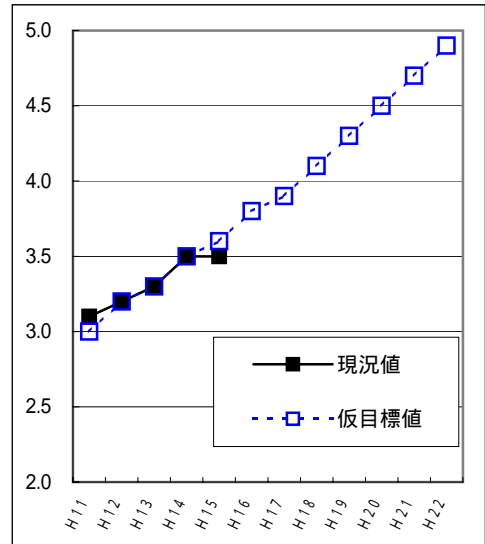
- [施策の有効性を評価する上で適切な指標か]
- 県民大学は、1市町村や民間教育事業者では規模や採算性等の面で実施できないような特色ある講座を広域的に実施している。
  - 地域における生涯学習の要となる指導者の育成も行っており、各市町村において、県の支援を期待する分野である。
  - 広域的、総合的な学習サービスの提供を行う本事業は、多様なニーズに対応した学習機会の提供を測る代表的指標としてふさわしい。
  - 生涯学習の振興という視点から実施している県事業は本事業だけであることから、本指標設定の妥当性が認められる。
  - 事業実施方法等については検討を行なう必要があるが、2010年の目標値は当面変更しない。

対象年度	H16	作成部課室	教育庁生涯学習課	関係部課室	
政策番号	3-7-2	政策名	生涯にわたって学び楽しめる環境の充実		
施策番号	1	施策名	多様なニーズに対応した学習機会の提供		

(1) 政策評価指標の推移

政策評価指標名		単位							
公立図書館における図書資料貸出数(県民一人当たり)		冊							
目標値	難易度	H17	3.9		H22	4.9			
評価年	初期値	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	
測定年		H10	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
現況値 (達成度判定値)		2.9	2.9	3.1	3.2	3.3	3.5	3.5	
仮目標値			3.0	3.2	3.3	3.5	3.6	3.8	
達成度			A	A	A	A	B		

政策評価指標値の推移(グラフ)



難易度: (トレンド型目標 実現が可能), (中間型目標 実現が困難), (チャレンジ型目標 実現がかなり困難)

(2) 指標の選定理由

- ・県民一人当たりの図書資料貸出数の多寡を指標とすることにより、生涯学習環境の充実度合いを推し量る指標として選定した。
- ・県民の生涯学習によるキャリア開発や県民の文化的活動の振興度合いを示す指標として選定した。
- ・当該指標の向上は、ボランティア活動などの地域づくりにも結びつくものとして選定した。

(3) 施策満足度の推移

施策満足度 (単位:点)	年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
	施策重視度 A	-		80	70	70						
	施策満足度 B	-		50	60	60						
	かい離 A-B	-		30	10	10						

(4) 政策評価指標の妥当性分析

ア 達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し	イ 達成度と施策満足度の推移の相関
<p>達成度:B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立図書館における図書資料貸出数(県民一人当たり)の平成15年度目標値である3.6冊には0.1冊及ばない3.5冊であったが、県図書館の貸出冊が、14年度より約25,000冊少なくなったことが大きく、これは平成15年5月26日に発生した三陸南地震による被害により、一般県民を対象とした開館日数が例年より17日間少なかったことによる。</li> <li>・一日単位で見えた場合、平成15年度の貸出冊数は14年度より102冊多い3,476冊となっている。</li> <li>・目標値はチャレンジ的目標ではあるが、16年度に公立図書館が3館増えたこと、また、県図書館の貸出冊数が増加傾向にあることから、変更はしない。</li> </ul>	<p>判定:...</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・達成度については、AからBと下がったが、施策満足度については、変動がなかったため、相関の判定ができなかった。</li> </ul> <p>相関の判定: (正の相関)、×(負の相関)、...(判定不能 満足度あるいは達成度の変動がない、または達成度が判定不能のため相関の検証ができない場合等)</p>

(5) 政策評価指標の妥当性の検証(総括)

存続 要検討

- 【施策の有効性を評価する上で適切な指標か】
- ・公立図書館は、地域における学習ニーズに応える生涯学習の中核的施設として、資料や情報の提供等、直接的な学習支援を行なう施設である。
  - ・人々の生涯にわたる学習活動を支援し、多様化・高度化する学習ニーズに対応するためには、地域の特性に応じた公立図書館活動の振興が必要である。従って、公立図書館の利用度を測る当該指標は、県民の多様なニーズに対応した学習機会の提供を計る指標の一つとして適切であると認められる。
  - ・当該目標を達成させるためには、未設置町村の解消(新たな公立図書館の建設)が必要と思われる。
  - ・厳しい財政状況下のもと、当該目標の達成は各市町村主体の活動によるところが大きいことから、当該目標の達成はチャレンジ的といえる。





# 施策・事業展開シート(C)

政策整理番号 23

対象年度	H16	作成部課室	教育庁生涯学習課	関係部課室	
政策番号	3-7-2	政策名	生涯にわたって学び楽しめる環境の充実		
施策番号	1	施策名	多様なニーズに対応した学習機会の提供		

## C - 1 評価結果から抽出される課題と対応策

【政策評価】施策群設定の妥当性, 施策群の有効性  
 ・政策評価指数(みやぎ県民大学受講者数及び公立図書館における図書資料貸出数)の目標値を達成するため,引き続き重点的に実施する必要がある。

【施策評価】事業群設定の妥当性, 事業群の有効性, 効率性  
 ・政策評価指数の順調な推移や高い施策満足度から判断して,事業群設定については妥当であり,事業そのものの廃止や見直しは考えていない。

【上記対応により,当該事業を縮小・中止した場合の影響】  
 ・該当なし。

## C - 2 施策・事業の方向性

### 施策の次年度(H18年度)の方向性とその説明

方向性	拡大	維持	縮小	その他
-----	----	----	----	-----

【見直しの視点とその理由】  
 ・特になし。

【次年度の方向性】  
 ・県民の重視度や優先度は依然として高く,より多様なニーズに対応した,より広域的な講座の実施に向けて,本施策の方向性は維持していく必要がある。  
 ・厳しい財政下にある市町村にとって,新たな図書館の整備については難しい状況にあり,県が市町村図書館設置に向けた気運の醸成や支援を行っていくという方向性は維持する必要がある。

### 主要事業・重点事業の次年度(H18年度)の方向性とその説明

事業番号	種別	事業名【H16決算見込額】	方向性	方向性に関する説明
1	主	みやぎ県民大学推進事業【9,985千円】	維持	多様なニーズに対応した講座内容及び講座の広域的な実施に向け,その効果も出てきており,今後も本事業の方向性は維持していく。
2	主	市町村図書館支援事業【73,656千円】	維持	学習機会の提供に欠かせない市町村図書館の充実に向け,運営やサービス展開等についての指導・助言等を行う本事業の方向性は維持していく。
3				
4				
5				
6				
7				
8				